

ZFS-5 リテラー組立マニュアル

cervélo

velo

目次

重要な情報.....1	ブレーキ ホースのルーティング。.....19
ツールと備品のリスト。.....2	機械ハウジングの配線と設置.....21
ZFS-5 フレームの特徴.....3	ドロップポスト/リモートロックアウトケーブル配線.....23
ZFS-5 小部品.....4	リアエアロスレーアクスルの取り付け.....24
ZFS-5 部品リスト.....5	タイヤ/リムクリアランス。.....25
フレームの準備.....6	ZFS-5自転車用途.....26
チェーンガイドの取り付け。.....9	ZFS-5 トルク仕様.....27
スイングアームアセンブリ.....10	ZFS-5 フレームの詳細.....29
スイングアームアセンブリ - ピボットリングの取り付け.....11	ZFS-5 フレームジオメトリ - 100 mm フォーク.....30
スイングアームの取り付け.....13	ZFS-5 フレームジオメトリ - 120 mm フォーク.....31
リアショックの取り付け.....15	付録: リアサスペンションのセットアップ.....32
Cervélo SP29 シートポストアセンブリ.....16	付録: 機械的安全性チェック.....33
フォークの準備と取り付け.....17	Cervélo カスタマー サポート。.....35

重要な情報

このマニュアルは、Cervélo正規販売店のお客様向けに、Cervélo ZFS-5の組み立てと調整方法を説明するものです。このマニュアルでは、Cervéloコンポーネントの取り付け、およびシフトおよびブレーキ制御ラインの配線に関する手順とプロセスについてのみ説明しています。このマニュアルに記載されている専用部品は、Cervéloまたはその正規販売代理店からのみ入手可能です。

注意：Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店にご依頼いただくことを強く推奨いたします。Cervélo ZFS-5のお客様/購入者で、このマニュアルをお読みになっている場合は、このマニュアルに記載されている手順を実行する前に、Cervélo正規販売店にご相談いただくか、www.cervelo.com/supportをご覧ください。


指定された部品を使用し、本組立説明書に従わない場合、走行中に制御不能に陥り、重傷または死亡に至る可能性があります。本マニュアルは、サードパーティの部品メーカーが提供する組立・整備説明書に代わるものではありません。また、組立作業者は訓練を受けたプロの自転車整備士であることを前提としています。<https://www.probma.org/> をご覧ください。

ツールと備品のリスト




このマニュアルでは、ZFS-5バイクの調整手順をいくつか説明しています。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店にご依頼いただくことを強くお勧めします。




注: Shimano や SRAM などの非独自コンポーネントはすべて、地元の販売代理店から入手できます。

注意:このマニュアルは、Cervélo 一般ユーザーマニュアルを補充するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順（この自転車に付属）を補足することを目的としています。

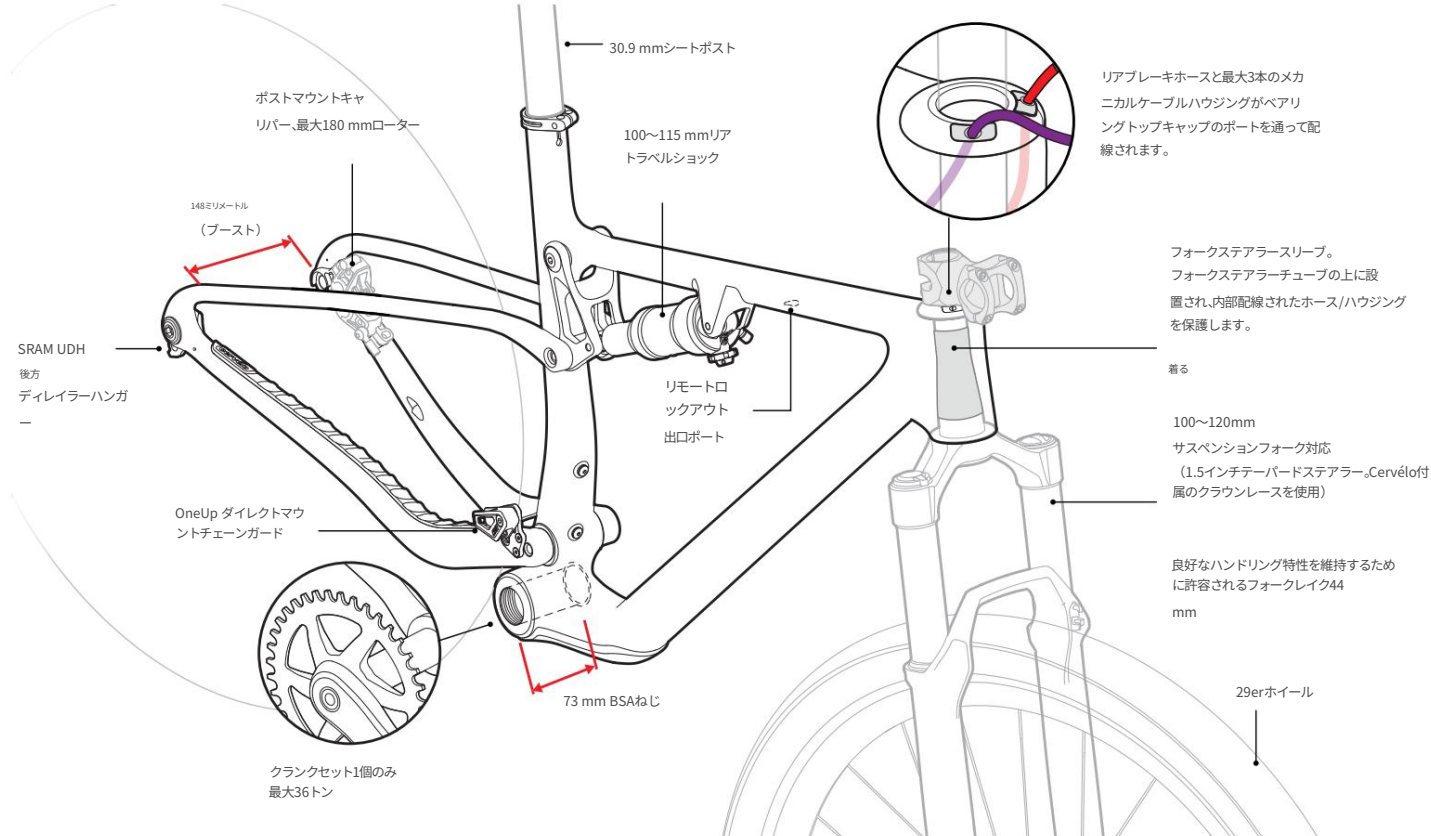
**WARNING**

この製品には、カリフォルニア州で癌、先天性的損傷、またはその他の生体への危害を引き起こすことが知られている化学物質が含まれています。

ツール	
	自転車用ワークスタンド（シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド）
	2.5 N・m〜15 N・mの範囲のトルクレンチとアダプタ:
	六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、8mm、10mm
	トルクスヘッドインサート: T25
	オープンエンドレンチ: 7mm、8mm、10mm
	ケーブル/油圧ホースカッター
	ペンチ
	プラスドライバー
	マイナスドライバー

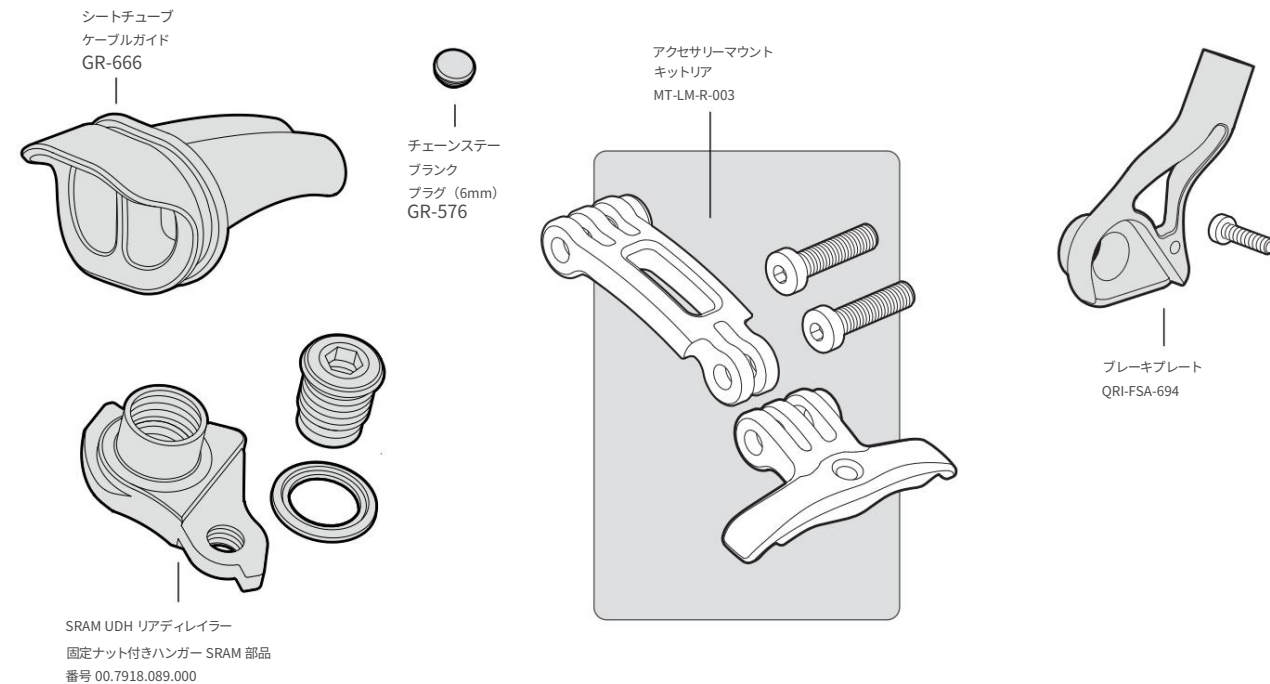
ツール	
	ショックポンプ
	ペダルレンチ
	ブレーキローターとボトムブラケット用のロックリングツール
	油圧ブレーキブリードキット
	イソプロピルアルコール
	スターナット&クラウンレース（1.5インチ）取り付けツール
	良質の自転車用グリース、 Locite® 243ねじロック、カーボンアセンプリコンパウンド
	鋸切断ガイド（Park Tool SG-7.2または同等品）
	弓のこ（合金および炭素専用刃付き）

ZFS-5フレームの特徴



ZFS-5 小型部品

ZFS-5フレームは、ブランドを問わず、機械式および電動変速システムをシームレスに統
合できるように設計されています。そのためには、以下に示すパーツが必要になる場合があ
ります。




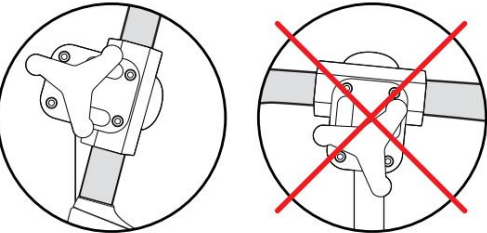
ZFS-5 部品リスト

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
アクセサリマウント リア MT-LM-R	003
6 mmブラックプラグ	GR-576
ZFS-5ヘッドセット (9 mm ベアリングキャップ,スプリット リングとインサート5個	BC-538
ヘッドセットベアリング 1-1/2" 36 x45	HS-110
クラウンレース 1-1/2" x 5.2 mm 高さ	HS-185
シートチューブケーブルガイド GR-666	
チェーンガイド	CG-730
MTBステアラープロテクター PRO-HT-19-5	

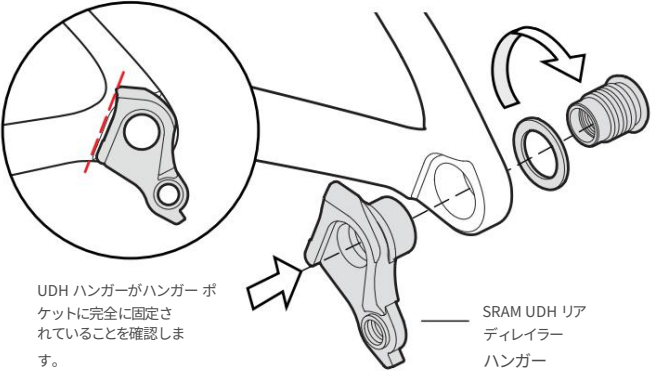
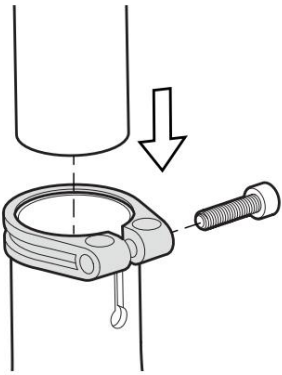
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ブレーキプレート	QRI-FSA-694
ピボットリンクキット	UL-FSA-661
リンケージリビルドキット	LK-FSA-681
DTプロテクター	プロ-DT-663
スイングアームプロテクター キット	プロ-CS-664
SP29 カーボンポスト 0 mm オフセット 30.9 mm 頭付き	SP-SP29-ゼロ
サーヴェロ リアMTB スルーアクスル付き 取り外し可能なハンドル	QRA-MTB-R
取り外し可能なハンドル サーヴェロMTB用 スルーアクスル	QRA-MTB-R-HNDL

フレームの準備

**WARNING**
固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。



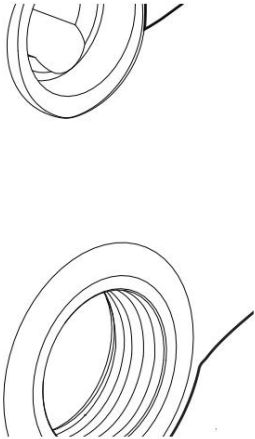
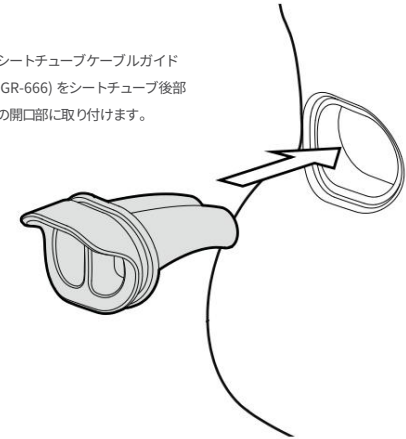
- 1.カーボン製シートポストの場合は、フレームとフレームに挿入するシートポストにカーボンペーストを塗布します。アルミ製シートポストの場合は、フレームとフレームに挿入するシートポストにグリスを塗布します。
2. シートポストをフレームに挿入します。
3. 高さを調整し、シートポストクランプを最大 4 N・m に締め付けます。



UDH固定ナットをワッシャーを通してUDHに取り付けます。

ハンガーのネジ山はUDHハンガーおよび固定ナットにはグリスを塗布しないでください。25 N・mで締め付けてください。

注意: UDH ハンガー固定ナットは左ねじです。

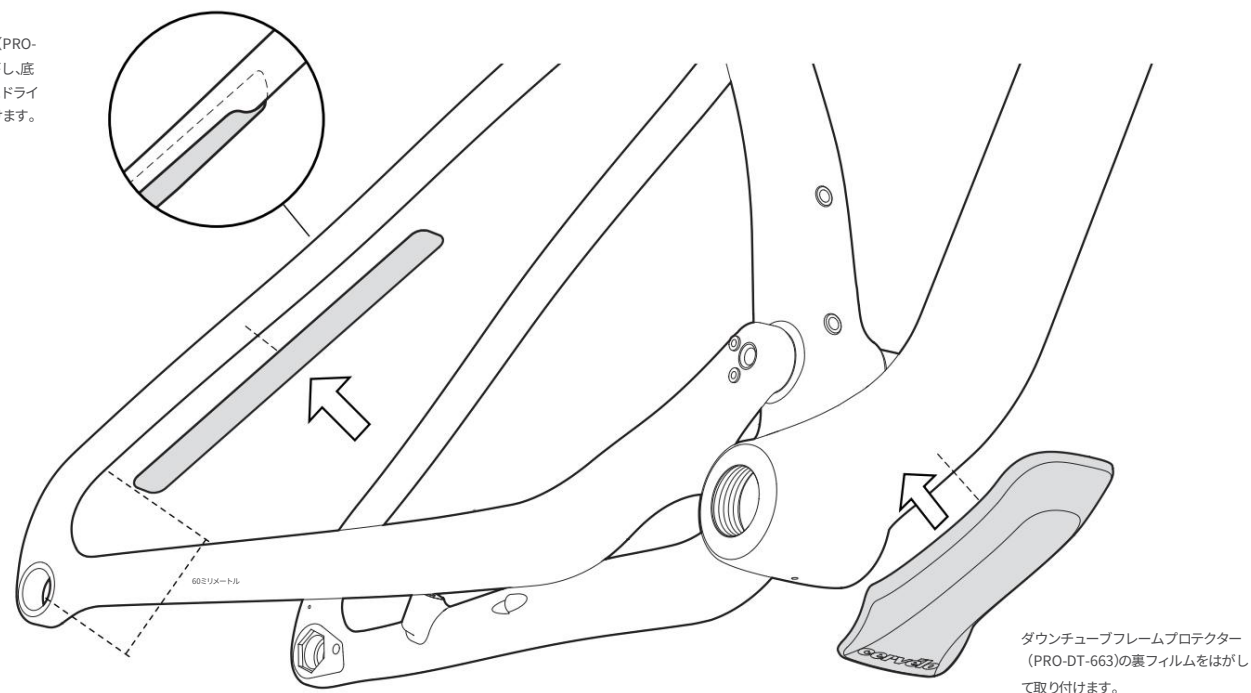


フレームの準備

シートステープロテクター (PRO-CS-664) の裏フィルムをはがし、底面と内側の表面を覆うようにドライブ側シートステーに取り付けます。

下端を約60mm配置します

ドロップアウトの中心から。

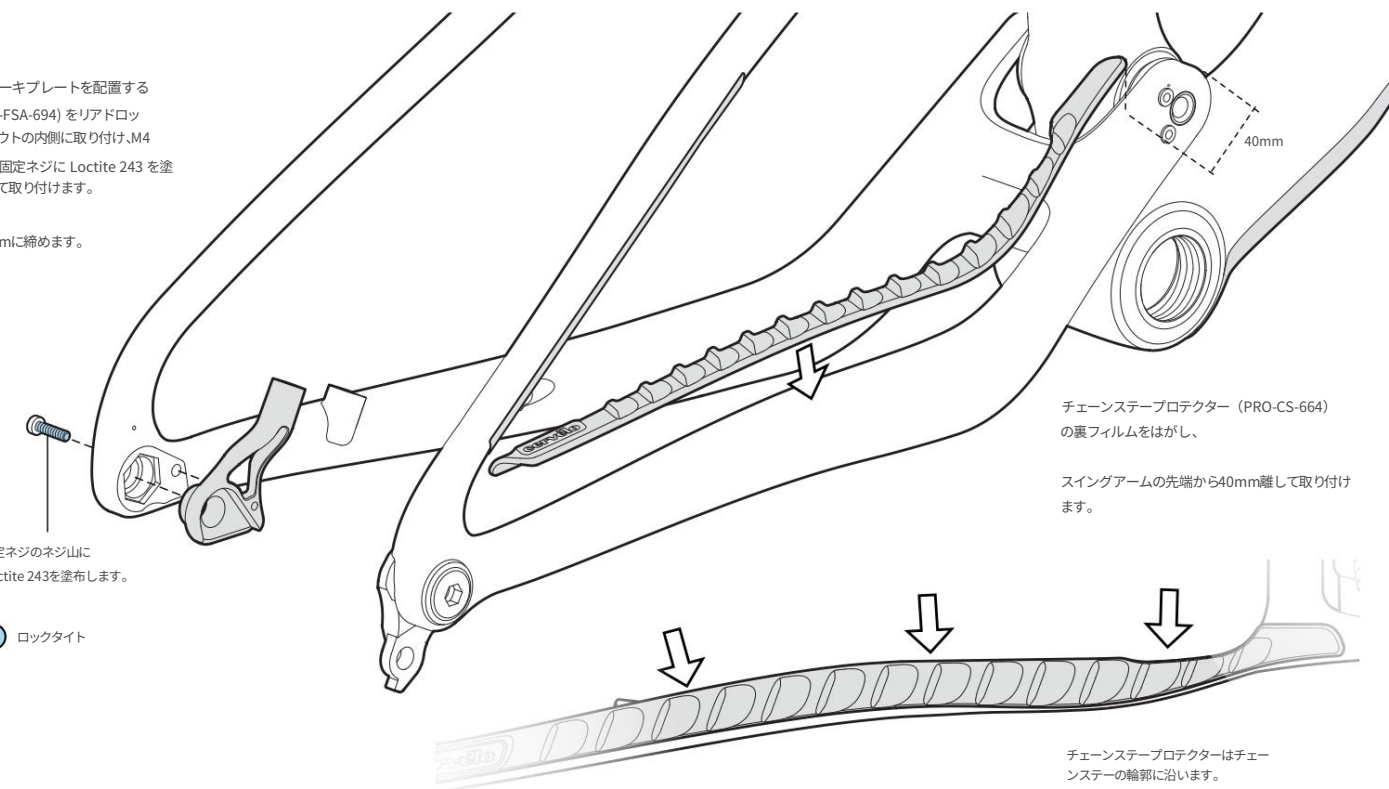


ブレーキプレートを配置する (QRI-FSA-694) をリアドロップアウトの内側に取り付け、M4 x 16 固定ネジに Loctite 243 を塗布して取り付けます。

3 N・mに締めます。

固定ネジのネジ山に Loctite 243を塗布します。

● ロックタイト



9

シートチューブの前のトップチューブのねじに Loctite 243 を塗布します。

30 ミリメートル
ほこり
シールド

メインピボット
アクスルスプリット
スペーサー

メインピボット
6902 封印された
ベアリング
(15×28×7ミリメートル)

30 ミリメートル
ほこり
シールド

メインピボット
6902 封印
ベアリング

上部のドライブ側ねじに
Loctite 243を塗布しま
す。

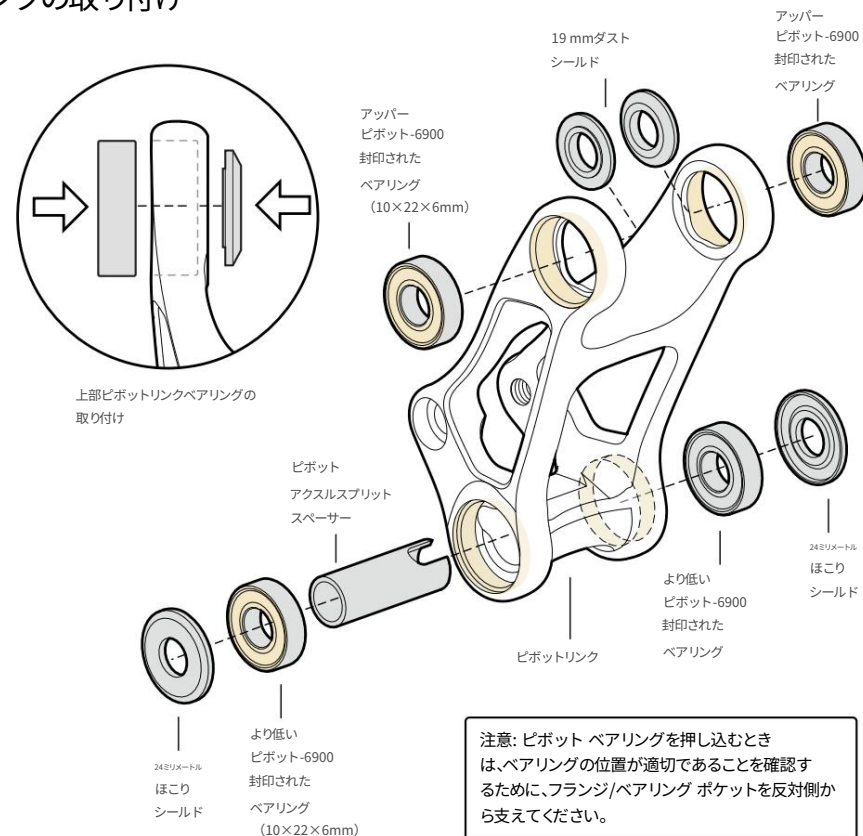
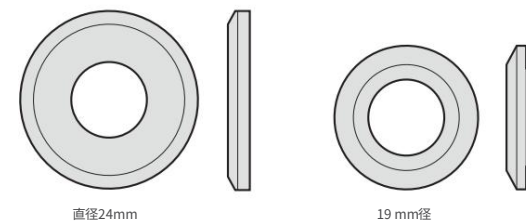
注意: ベアリングを押
し込むときは、フレームやコン
ポーネントを損傷しな
いツールを使用して、常
に反対側のフレームを支え
てください。

適用する
ロックタイト 243
駆動側のねじを
下げる

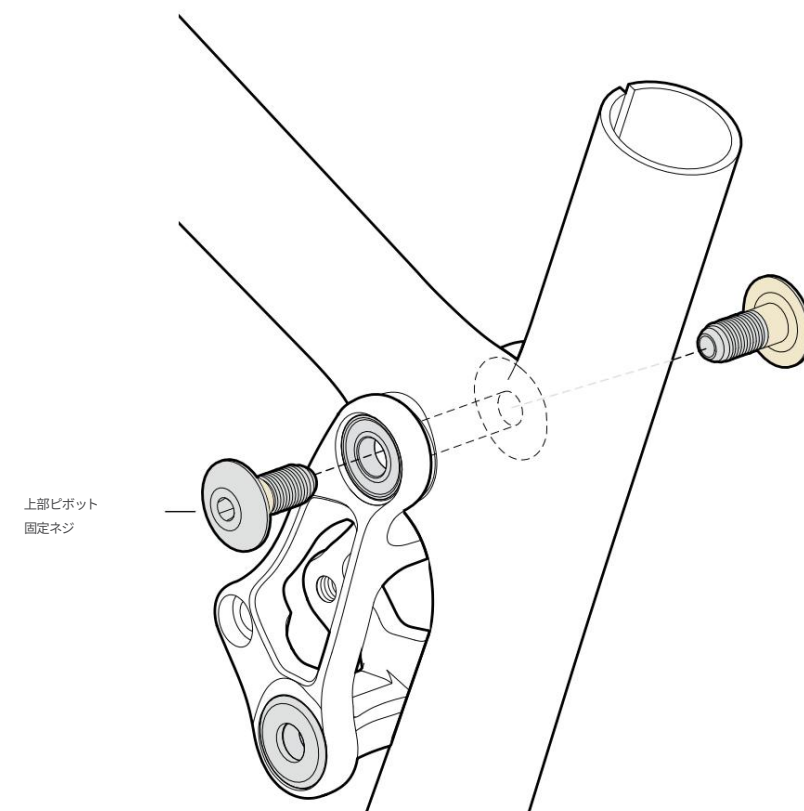
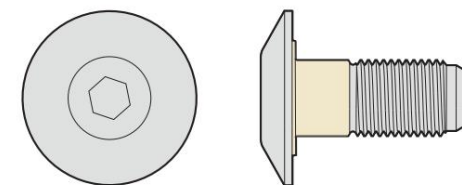
スイングアームアセンブリ - ピボットリンクの取り付け

1. 上部ベアリングと下部ベアリングにグリースを塗布します
ピボットリンクのポケット。
2. ベアリングプレスを使用して、ドライブ側下部ピボットベアリングを取り付けます。
3. ピボットアックススプリットスペーサーをスプリットスペーサーで取り付けます。
バイクの駆動側に向けて、非駆動側のピボットベアリングを押し込みます。取り付けの際は、分割スペーサーが内側のベアリングレースと一直線になるように工具を使用してください。
4. 上部のピボット ベアリングを 1 つずつ取り付けます。
このプロセス中に損傷が発生しないように、各フランジの間にブロックを配置してリンクをサポートします。
5. 上部ピボットの内側ベアリングにグリースを塗布します。
表面を研磨し、大きな面取りがフレームの内側を向くようにして、ベアリングに対してシールドを配置します。
次に、ピボット ボルトの取り付けに備えて、上部ピボットの外側ベアリング面にグリースを塗布します。

● グリース

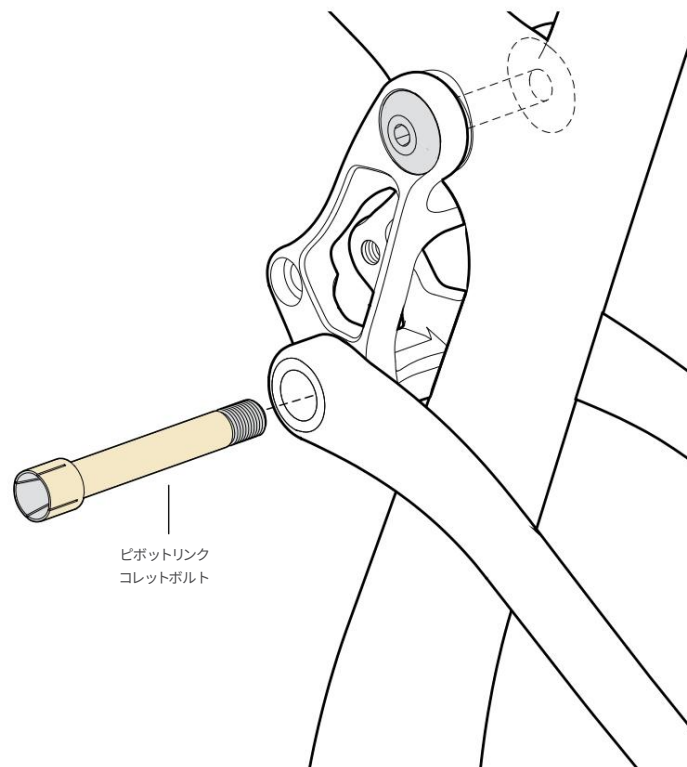
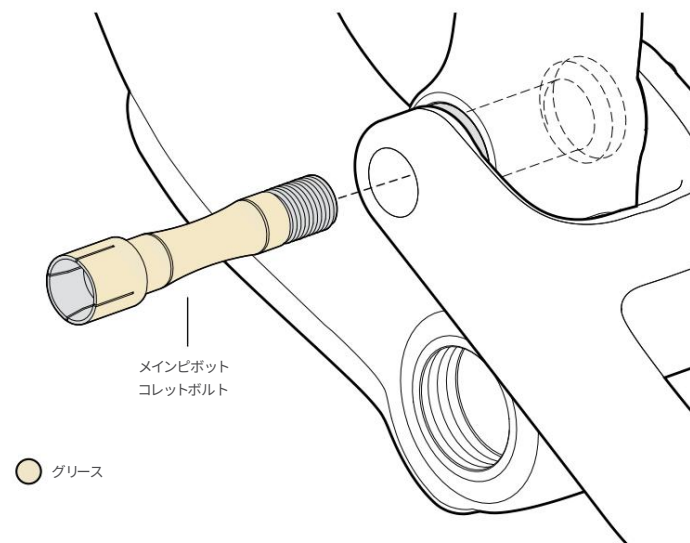


6. 下部ピボットベアリングの外側にグリースを塗布し、ダストシールドを取り付けます。
7. 各シャフトの滑らかな部分にグリースを塗布します。
上部ピボット固定ネジ。ネジ山にグリースを塗布しないでください。
8. ピボット リンクをフレームの所定の位置に配置します。
ドライブ側と非ドライブ側の上部ピボット固定ネジをフレームに手でしっかりと固定されるまでねじ込み、15.8 N・m で締めます。
9. リンクの自由な動きを確認し、
左右の遊びがないことを確認してください。

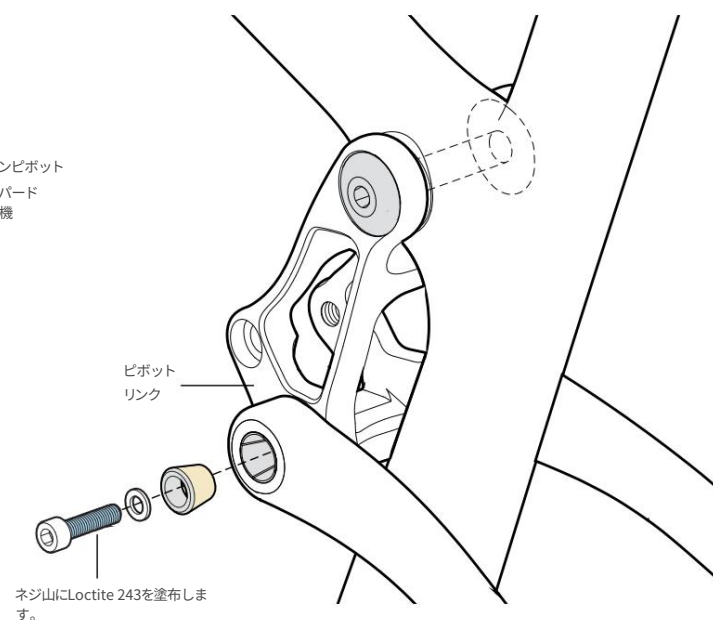
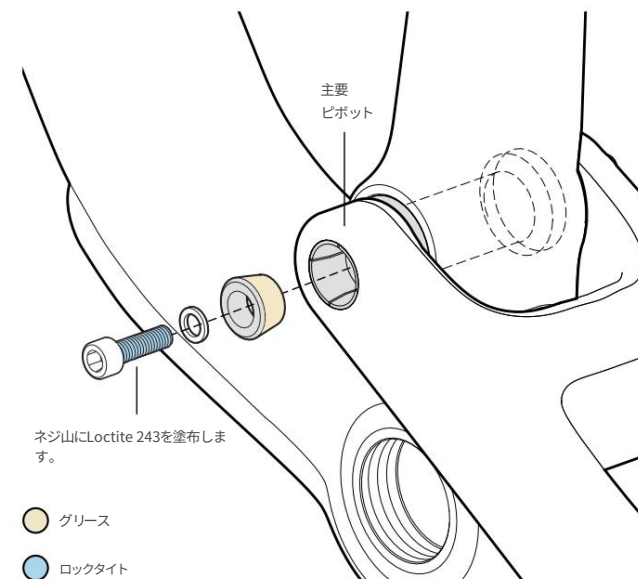
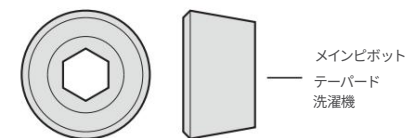


スイングアームの取り付け

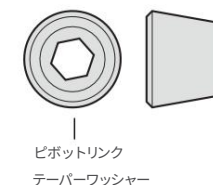
1. メインシャフトと外側のボルトヘッドにグリースを塗布します。
ピボットボルトとピボットリンクコレットボルト（ねじ山にグリースを塗らないでください）。メインピボットボルトとピボットリンクコレットボルトを挿入し、両方のねじを手で締めます。ZFS-5はフレックスステアサスペンションシステムを採用しているため、ピボットリンクコレットボルトを取り付ける際、シートステーを手で押し込む必要がある場合があります。
2. メインピボットコレットボルトを20.3 N・mに締めます。
3. ピボットリンクコレットボルトを13.6 N・mに締めます。



4. メイン ピボット拡張ネジのネジ山に Loctite 243 を塗布します。
5. メインピボットテーパーワッシャーの外側表面にグリースを塗布します。
6. テーパーワッシャー、固定ネジワッシャー、固定ネジを取り付け、9 N・mで締め付けます。



7. ピボットリンク拡張部にLoctite 243を塗布するねじ山。
8. ピボットリンクテーパーワッシャーの外側表面にグリースを塗布します。
9. テーパーワッシャー、固定ネジワッシャー、固定ネジを取り付け、5.6 N・mで締め付けます。



リアショックの取り付け

1. ショック固定ネジのネジ山にグリースを塗布します。

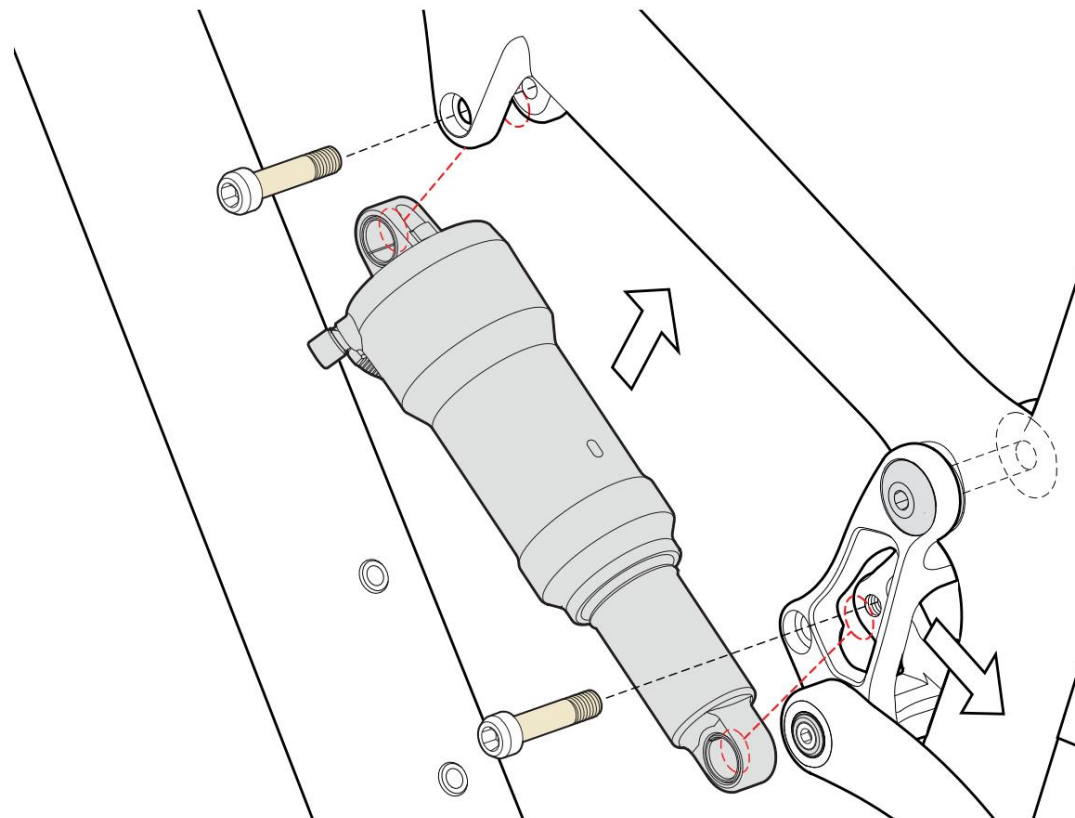
2. ZFS-5はフレックスステアサスペンションシステムを採用しています。スイングアームを手動で押し戻して穴の位置を合わせ、ショックアブソーバーのハードウェアを挿入する必要があります。

3. リアショックを（エア缶をフレームのヘッドチューブに向けたまま）フレームセットの2つの取り付けポイントに上げ、非ドライブ側からショック固定ネジを挿入します。

4. ショック固定ネジを20N・mで締めます。

注：ショックアブソーバーの一般的なセットアップ手順については、このマニュアルの「付録：リアサスペンションのセットアップ」を参照してください。リアショックアブソーバーのセットアップと調整に関する具体的な手順については、ZFS-5に付属のショックアブソーバーメーカーの取扱説明書を参照してください。

● グリース



CERVÉLO SP29 シートポストアセンブリ

1. カーボンアセンブリを薄く塗布する
調整スロットの周囲を覆うように、シートポストの上面にコンパウンドを塗ります。

2. クロスバーとサドルクランプ ベースの間にサドル レールを配置し、シートポストに配置します。

3. 35 mm 球面キャップ ネジの端のネジ山に Loctite 243 が塗布されていることを確認します。

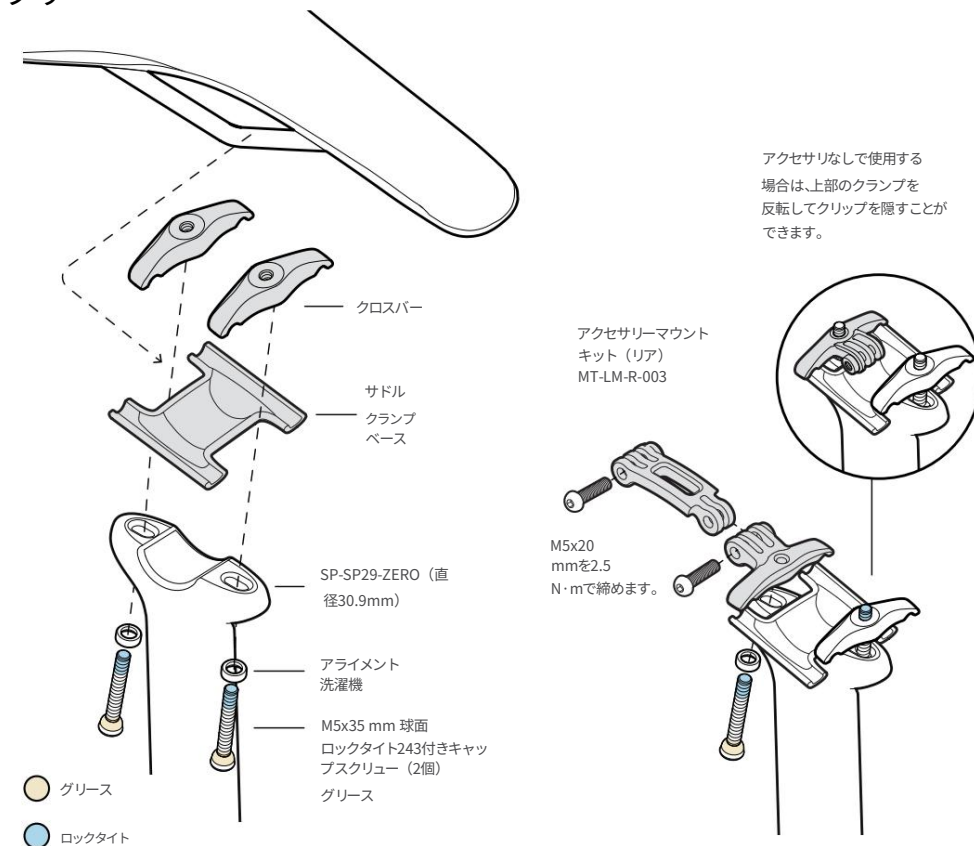
4. 球面キャップスクリーに頭に軽くグリースを塗ります。アライメントワッシャーを球面キャップスクリーに差し込み、シートポストの下側から取り付けます（図参照）。

最大 8 N・m に達するまで、両側を交互に 1/2 回転ずつ締めます。

⚠ WARNING

シートポストのトリミングが必要な場合は、最終的な長さは、フレーム内にシートポストが最低70mm残るように、またはシートポストに記載されている最小挿入寸法のいずれか大きい方を考慮してください。この要件を満たさない場合、保証の対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷につながる可能性があります。

注意: Cervélo 以外のシートポストの場合、組み立てと調整については、ZFS-5 に付属のシートポスト製造元の説明書を参照してください。



フォークの準備と取り付け

これらの図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、部品メーカーのサービスマニュアルまたはウェブサイトをご参照ください。

さらに詳しい情報。

WARNING

カーボンステアチューブ付きフォークは、ZFS-5での使用は推奨されません。

1. フォーククラウンにグリスを塗布し、Cervélo 付属のクラウンレース (HS-185) をサスペンションフォークに取り付けます。

2. ベアリングポケットにグリスを塗布し、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます (次のページを参照)。

3. フレームに付属のフォークを完全なヘッドセット、必要なスペーサー、ステムを備えたヘッドチューブ。

4. 必要最低限の圧力をかける
アセンブリが完全に固定されていることを確認してください。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。

5. フォークを取り外し、最初の印から2mm下の位置にフォークステアラーチューブの明確な印を付けます。この印がステアラーチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。

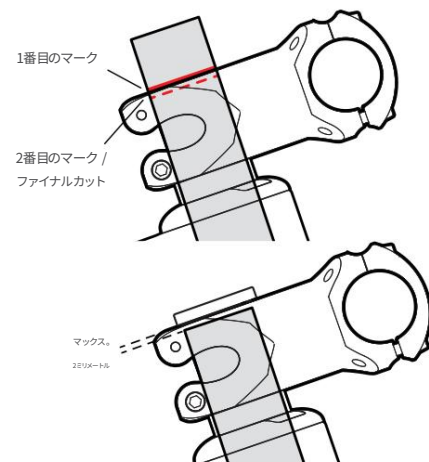
6. フォーク ステアラーをトリミングするには、特定のステアラー材料の切断に適したのこぎりや切断ガイドを使用します。

CAUTION

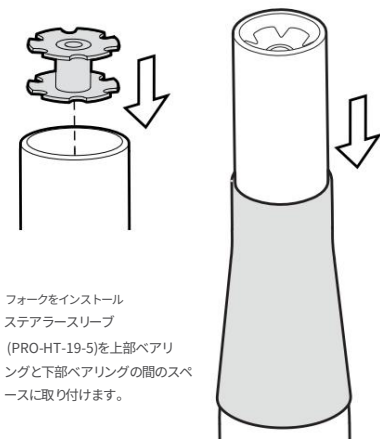
取り付け前に、適切な方法で、トリミングされたフォークステアラーからバリ、鋭いエッジ、または粗い部分を取り除いてください。

7. スターナットをステアラーの4~15mm下に取り付けます。上端。

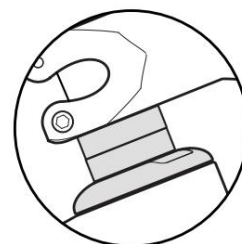
8. フォークステアラースリーブをステアラーに取り付け、上部ベアリングと下部ベアリングの間に、どちらの部品にも接触することなくフィットするようにトリムを調整します。これにより、ホースやケーブルがステアラーに接触して摩耗するのを防ぎます。



スターナット
4-15mmをステアラーに取り付けます。



フォークをインストール
ステアラースリーブ
(PRO-HT-19-5)を上部ベアリングと下部ベアリングの間のスペーサーに取り付けます。

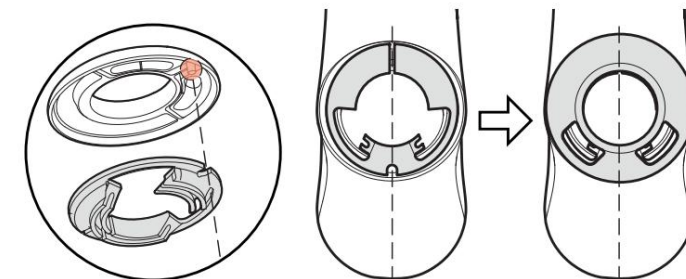
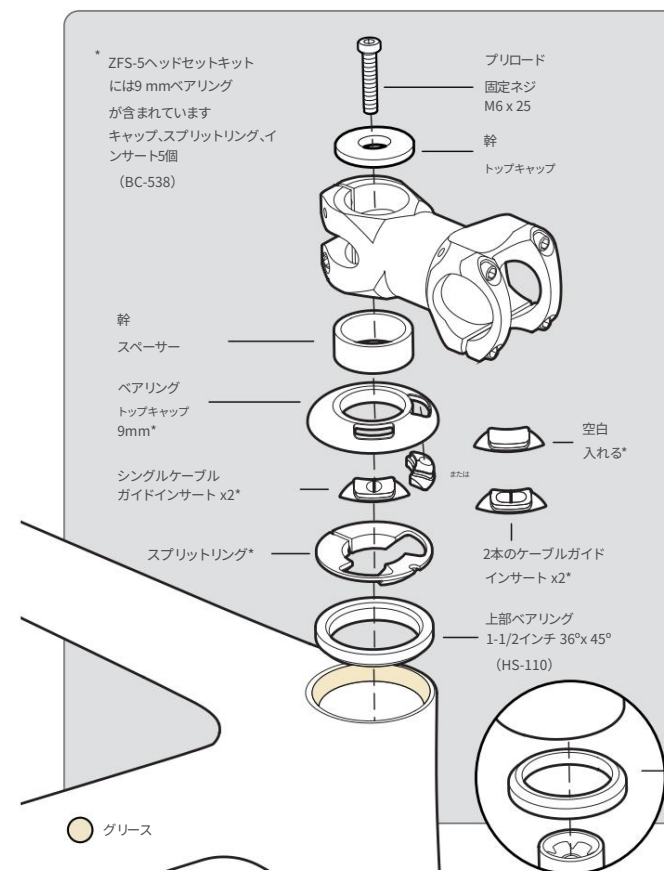


WARNING

ベアリング トップ キャップを含めたスペーサーの合計高さが 30 mm を超えないようにしてください。

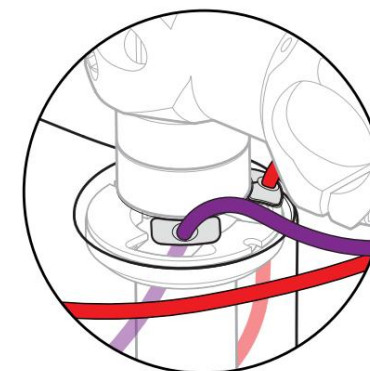
WARNING

ステアラー チューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる可能性のある故障が発生する可能性があります。



スプリットリングをピンに合わせます
ベアリングトップキャップ

スプリットリングとベアリングトップを確認する
キャップは前面と揃っています
フレームとフォークの。



下部ベアリング
1-1/2インチ 36° x 45°
(HS-110)

リア ブレーキ ホースとシフター、ドロップバー ポスト、リモートロックアウト ケーブルのハウジングは、ベアリング トップ キャップインサート、スプリット リング、上部ベアリングを通してフレームに配線されます。

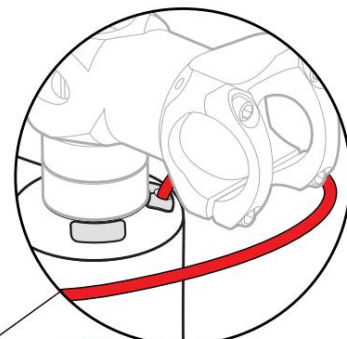
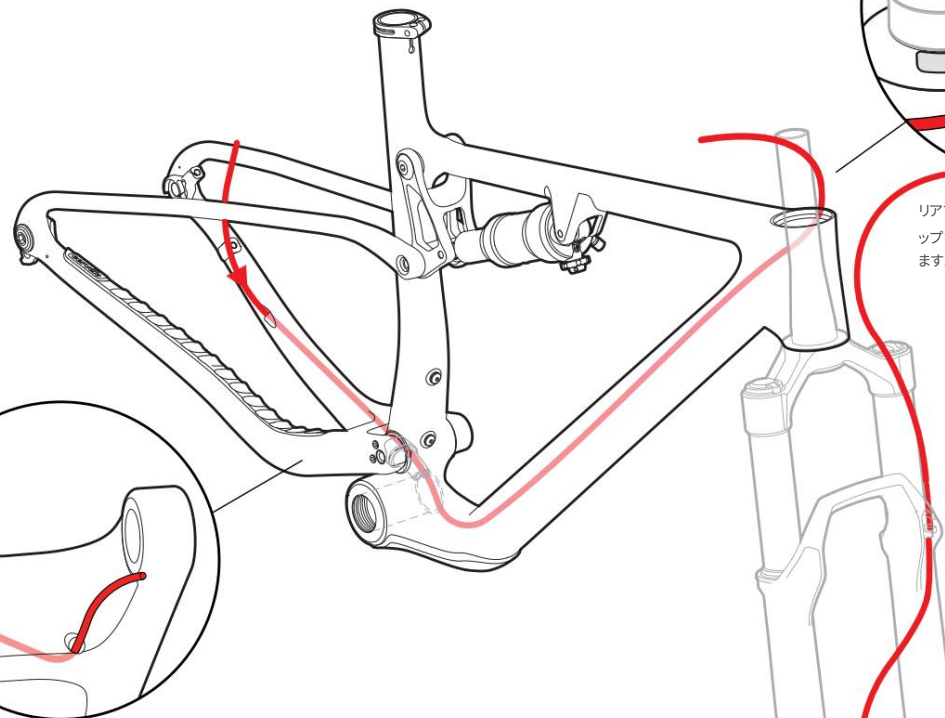
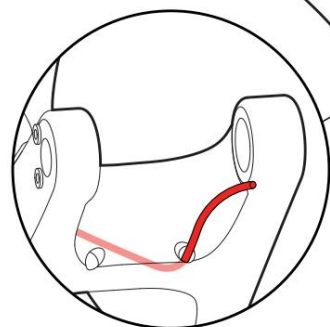
ブレーキホースの配線

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ

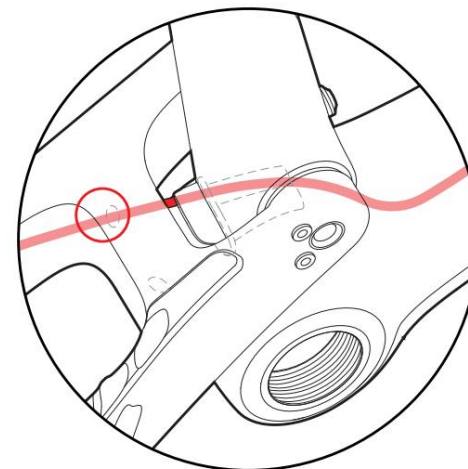
リアブレーキホースをスイングアームチェーンステアポートに通し、チェーンステアブリッジの非ドライブ側ポートから非ドライブ側ポートに通します。

シートチューブケーブルガイドのサイドホール。ホースはBBシェル上を通ってダウンチューブを上り、ヘッドチューブの上部から出ます。

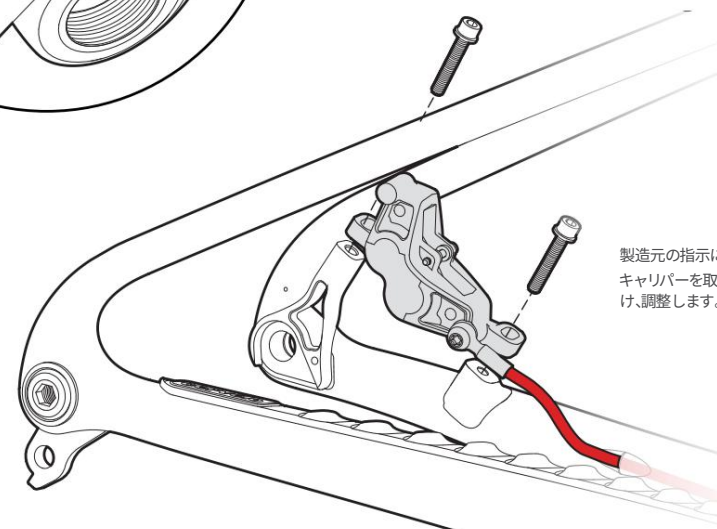


リアブレーキホースをベアリングトップキャップの非駆動側ポートに通します。

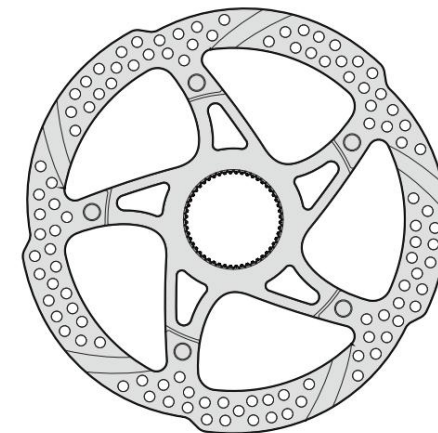
フロントブレーキホースはサスペンションフォークメーカーの規定に従って外部に配線されています。仕様。



リアブレーキホースをスイングアームの非ドライブ側ポートに通し、シートチューブケーブルガイドを通してフレームに配線します。



製造元の指示に従ってキャリパーを取り付け、調整します。



リアローターの最大サイズは180 mm（最小160 mm）。

機械ハウジングのルーティングと設置

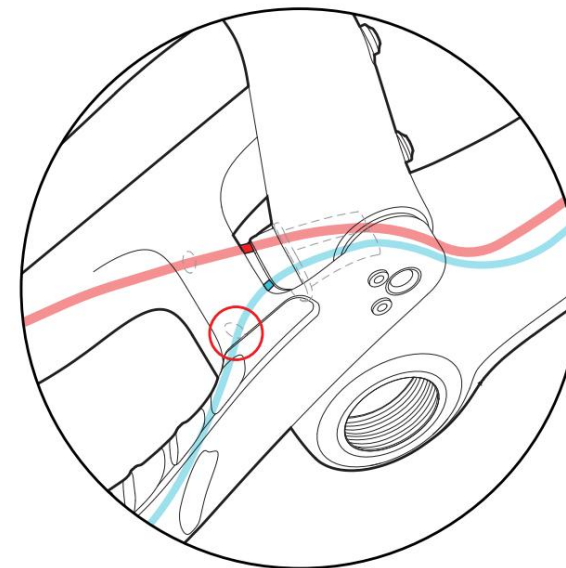
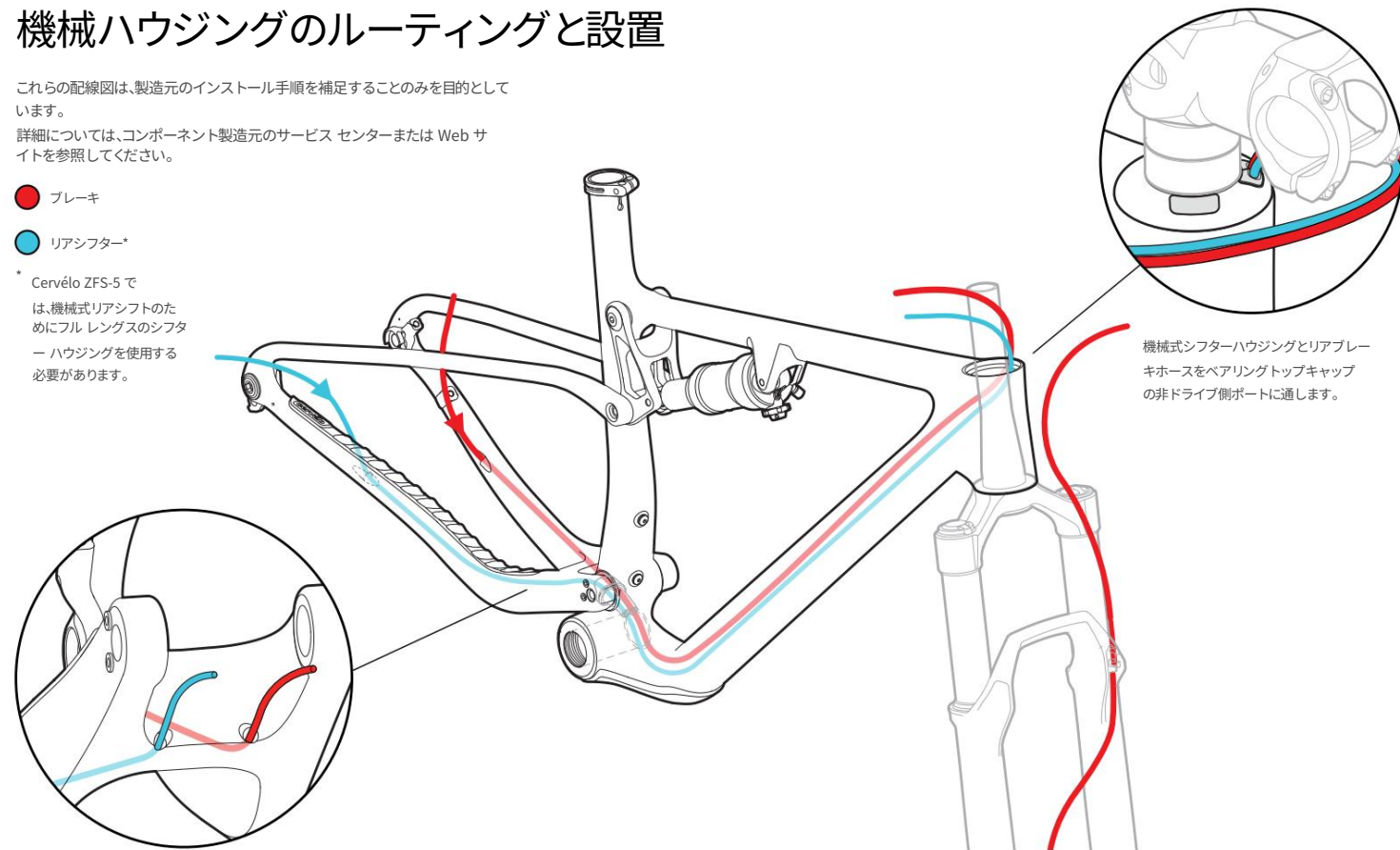
これらの配線図は、製造元のインストール手順を補足することのみを目的としています。

詳細については、コンポーネント製造元のサービス センターまたは Web サイトを参照してください。

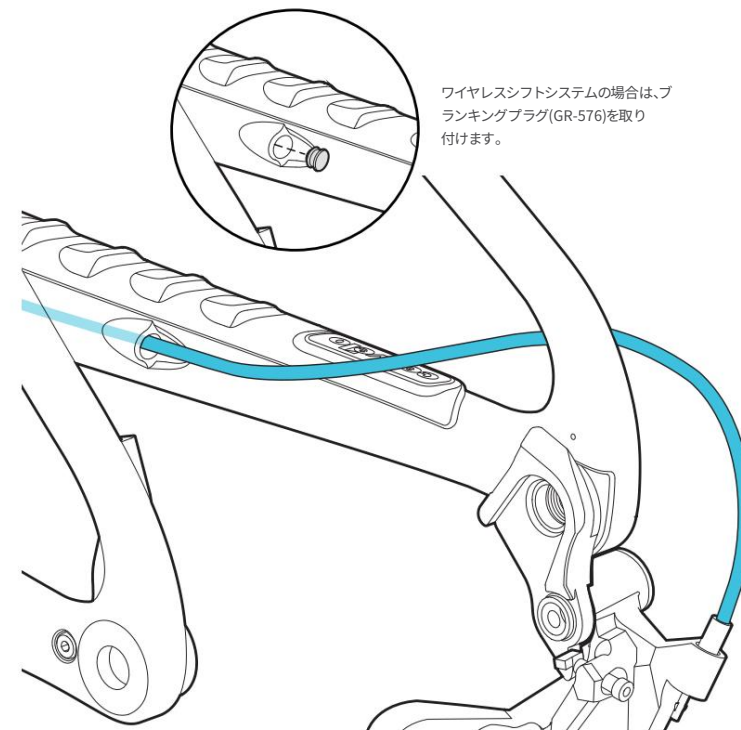
● ブレーキ

● リアシフター*

* Cervélo ZFS-5 では、機械式リアシフトのためにフル レングスのシフター ハウジングを使用する必要があります。



機械式シフター ハウジングをスイングアームのドライブ側ポートに通し、シート チューブ ケーブル ガイドを通してフレームに配線します。



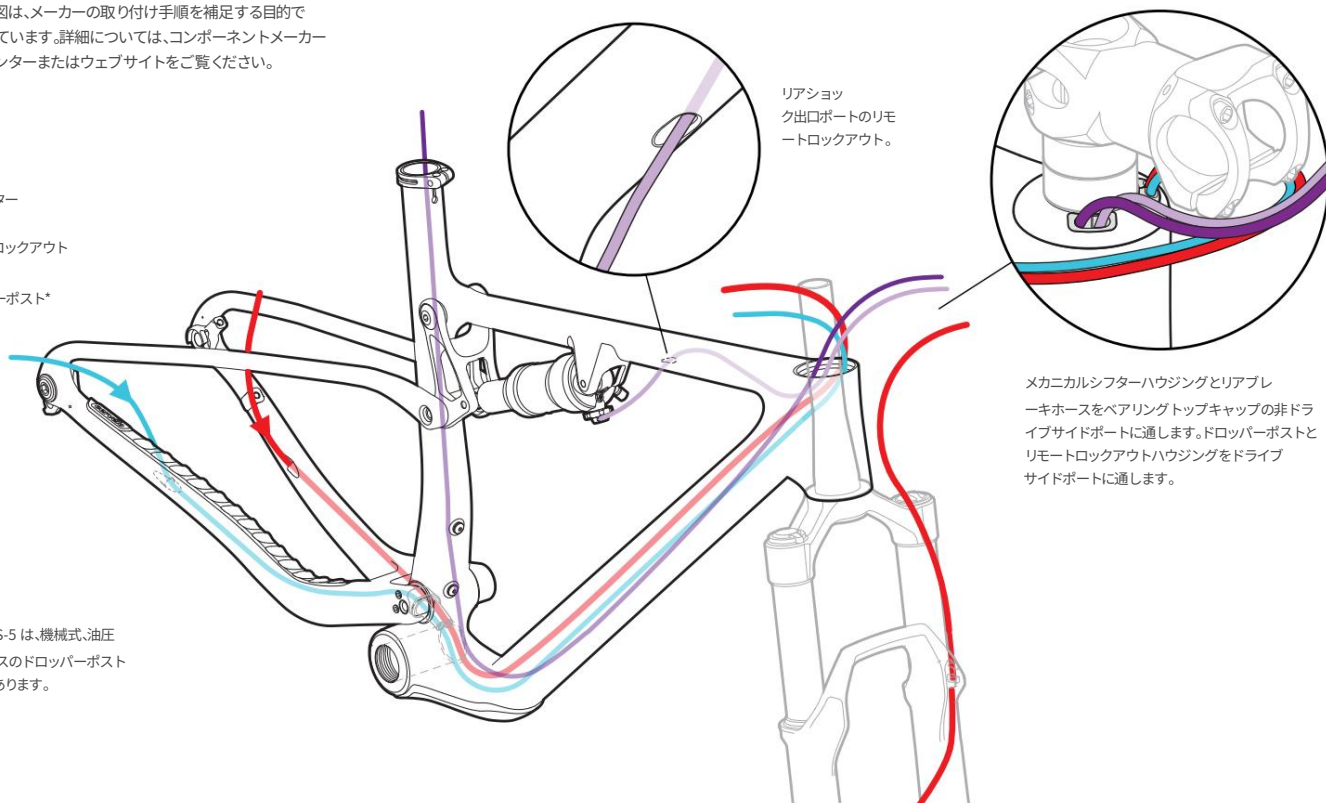
ワイヤレスシフトシステムの場合は、ブラッキングプラグ(GR-576)を取り付けます。

製造元の指示に従って、リア ディレイラーをリア ディレイラー ハンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付けます。

ドロPPERポスト / リモートロックアウトケーブルルーティング

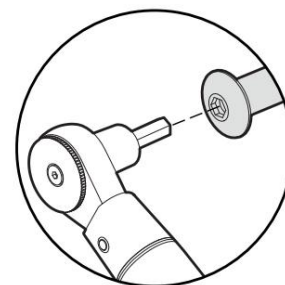
これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

- ブレーキ
- リアシフター
- リモートロックアウト
- ドロPPERポスト*

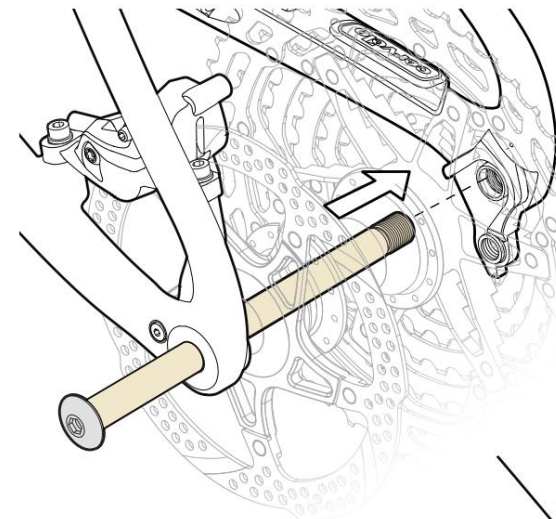
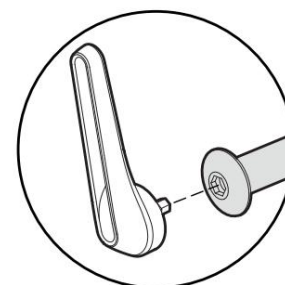


* Cervélo ZFS-5 は、機械式、油圧式、ワイヤレスのドロPPERポストと互換性があります。

リアエアロスルーアクスル取り付け



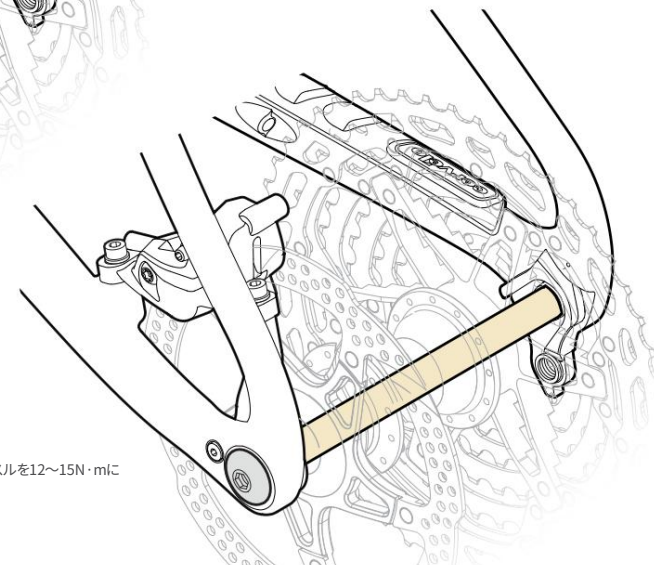
または



ホイールを固定するには、グリースを塗布した車軸をドロPPERアウトとホイール ハブに通して、車軸のねじ端をねじインサートに合わせます。

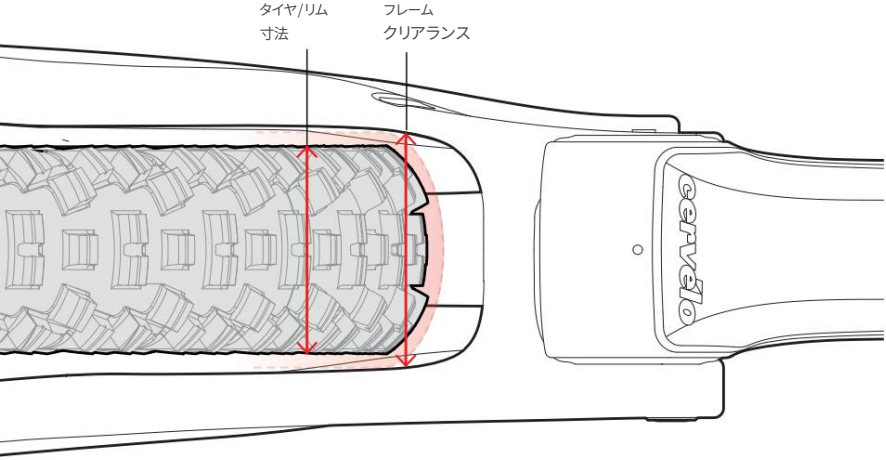
位置合わせしてかみ合ったら、アクスルがしっかりと固定されるまで、アクスルをインサートのねじ付きコンポーネントに時計回りにねじ込みます。

● グリース




タイヤ/リムクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低6mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. その2つの数字のうち小さい方を使って、残りのスペースを決定するには、12 mm (片側 6 mm) を差し引きします。
4. タイヤをホイールに取り付けて完全に空気を入れた状態で、リムまたはタイヤの最大幅を測定して、フィットすることを確認します。

 **WARNING**

タイヤまたはリムとフレームまたはフォークが接触すると、走行中にコントロールを失い、深刻な怪我につながる可能性があります。これらのガイドラインに従わない場合、フレームに損傷が生じる可能性があります。Cervélo限定生涯保証の対象外となります。

ZFS-5自転車の用途

 **WARNING**

自転車とその用途を理解しましょう。目的に合わない自転車を選ぶと危険です。間違った使い方をすると危険です。

販売店は、お客様に最適な自転車選びをお手伝いし、その限界についてご理解いただけるようお手伝いいたします。以下のページでは、Cervéloの様々なタイプの自転車の一般的な用途についてご説明します。

注意： Cervéloの自転車は、自転車、ライダー、荷物の合計重量が100kgまでとなるようテストされています。コンポーネントにはそれぞれ異なる重量制限があり、交換すると自転車の安全最大重量が変わる場合があります。お客様の自転車に適したコンポーネントについては、販売店またはCervéloカスタマーサービスにお問い合わせください。

クロスカントリー、マラソン、ハードテイル - コンディション3
コンディション1および2に加え、荒れたトレイル、小さな障害物、そしてタイヤが一時的に路面から外れるような滑らかなテクニカルエリアを含むオフロード走行を想定して設計されたバイクです。ジャンプは24インチ (61cm)以下にしてください。

クロスカントリーライディングとレースを対象としており、中級レベルの地形（例えば、根っこ、岩、緩い路面、固い路面、窪地などの小さな障害物がある丘陵地帯）での、軽快からアグレッシブまで、様々な難易度に対応します。クロスカントリーとマラソン用の装備（タイヤ、ショックアブソーバー、フレーム、ドライブトレイン）は軽量で、力任せに走るよりも軽快なスピードを重視しています。サスペンショントラベルは比較的短く、地面を素早く移動することを目的として設計されています。空中で激しい着地や障害物への衝撃に耐える必要はありません。

最大重量制限 - Cervélo ZFS-5		
ライダー	194ポンド	88キロ
ギア*	11ポンド	5キロ
合計	220.5ポンド	100キロ

※シートバッグ/ウォーターボトル/弁当バッグ/ハンドルバーボトル/収納マウントのみ

フリーライディング、ダウンヒル、グラビティ、ダートジャンプ、その他のアグレッシブなライディングスタイルを含むエクストリームなライディングには適していません。

トレードオフ クロスカントリーバイクはオールマウンテンバイクよりも軽量で、上り坂の走行速度が速く、機敏な動きをします。クロスカントリーバイクやマラソンバイクは、ペダリング効率と上り坂のスピードを優先して、ある程度の頑丈さを犠牲にしています。

ZFS-5 トルク仕様

ねじ留め具の正しい締め付けトルクは、安全のために非常に重要です。常に正しいトルクで締め付けてください。このマニュアルの指示とコンポーネントメーカーの指示に矛盾がある場合は、販売店またはCervéloカスタマーサポートにお問い合わせください。締め付けがきつすぎると、ファスナーが伸びて変形する可能性があります。締め付けが緩すぎると、ファスナーが動いて疲労する可能性があります。どちらの場合も、ファスナーが突然破損する可能性があります。

自転車の重要なファスナーを締め付ける際は、正しく調整されたトルクレンチのみを使用してください。正確な締め付け結果を得るには、トルクレンチメーカーの取扱説明書に従って設定と使用方法をよく読んでください。ご自身で調整を行う前に、必ずすべての関連資料を読み、適切な工具を揃えてください。

小売業者は適切なツールと経験を備えており、調整が確実に正しく行われるようにするため、以下の調整は小売業者に実行させることをお勧めします。

ボルトを組み立てて締め付ける前に、すべてのねじ山に高品質の非リチウム系グリースをたっぷり塗布してください。ただし、ボルトにLoctite®ねじロック剤が塗布されている場合は除きます。すべてのボルトにはグリースがLoctiteのいずれかを塗布してください。両方を同時に塗布することは避けてください。すべてのねじ山付きファスナーの締め付けには、特定のトルク設定に適した目盛りのトルクレンチの使用を強くお勧めします。

サーヴェロは、シートポストなど、カーボンファイバーをクランプするすべての領域にカーボンアセンブリコンパウンド/摩擦ペーストを使用することを強く推奨しています。

フレームとステム、ステムとフォーク、ハンドルバーとステムの接合部に塗布します。このペーストを使用する利点としては、腐食の可能性を低減し、所定の荷重を支えるために必要な締め付け力を低減できることなどが挙げられます。ペーストを締め付け部下のカーボン表面に均一に塗布し、以下の推奨事項に従って該当するボルトを締め付けてください。

警告:以下のリストと、元の装備コンポーネントの推奨トルク値に関するサプライヤーの資料との間に不一致または矛盾がある場合は、取り付け前に Cervélo カスタマー サポートに連絡して、必要なトルクの確認と説明を受けてください。

成分	トルク(N・m)備考	
フレーム		
ボトムブラケット - ネジ付き - BSA 73	50 N・m	フレーム内側のBBシェルのネジ山を清掃し、グリースを塗布します。BBカップの外側のネジ山にもグリースを塗布します。BBカップの両側をフレームにねじ込みます。右側のカップは逆ネジになっていることに注意してください。トルクレンチと適切なアダプターを使用して、両側がフレームと面一になるまで指定トルクで締め付けます。
ブレーキプレート固定ネジ	3 N・m	ボルトのネジにLoctite 243（または同等品）を塗布します。
リアディレイラー固定ナット（SRAM UDH）	25 N・m	グリースはスルーアクスルのネジ部にのみ塗布してください。UDHハンガーや固定ナットにはグリースを塗布しないでください。
ウォーターボルトケージ固定ネジ	2〜3 N・m	固定ネジに軽くグリースを塗ります。
シートポストクランプ（フレームからシートポストへ）		
丸襟	4 N・m	カーボンシートポストとフレームの間にカーボンアセンブリコンパウンドを使用します。
サドル（シートポストヘッドボルト） - SP29 カーボン		
2ボルトヘッド	8〜9 N・m	固定ネジのネジ山にLoctite 243（または同等品）を塗布します。
ホイール		
サーヴェロ エアロ スルーアクスル / 取り外し可能なハンドル付きサーヴェロ エアロ スルーアクスル	12〜15 N・m	6 mm 六角レンチタイプのレンチまたは取り外し可能なハンドルを使用する必要があります。
サスペンション		
ショック固定ネジ（上部と下部）	20 N・m	固定ネジのネジ山にグリースを塗布する
上部ピボットリンク固定ネジ	15.8 N・m	固定ネジのネジ山にLoctite 243（または同等品）を塗布します。
ピボットリンクコレットアクスル	13.6 N・m	アクスルのネジ山にロックタイト243（または同等品）を塗布します。アクスルシャフトにグリースを塗布します。
ピボットリンクコレット拡張ネジ	5.6 N・m	ネジ山にLoctite 243（または同等品）を塗布します。
メインピボットコレットアクスル	20.3 N・m	アクスルのネジ山にロックタイト243（または同等品）を塗布します。アクスルシャフトにグリースを塗布します。
メインピボットコレット拡張ネジ	9 N・m	ネジ山にLoctite 243（または同等品）を塗布します。

ZFS-5 フレームの詳細

ZFS-5 (FM155)	
バイク名	ZFS-5
モデル年	2024
シリアル番号コード	SN155
フレームコード	FM155
ブレーキマウントタイプ (リア)	ポストマウント
フレームサイズ	S/M/L/XL
ホイールサイズ	29インチ
BBタイプ	BSA 73 mm
ヘッドセットの種類	一体型1-1/2インチ×1-1/2インチ

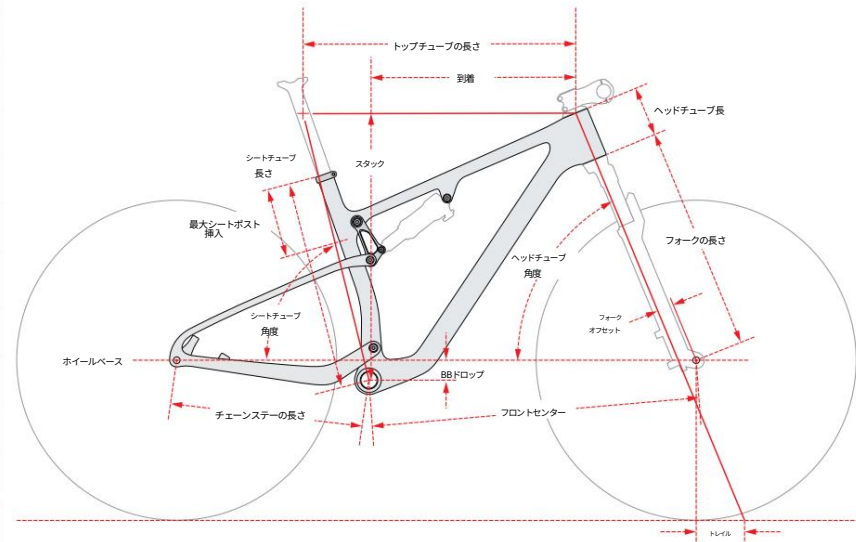
* チェーンラインは55mmです。フレームサイズとクランクの組み合わせによっては干渉が発生する場合があります。
OEM コンポーネントを交換するときは必ず Cervélo 販売店にご相談ください。

** タイヤの測定は、タイヤがリムに取り付けられ空気が入った状態で、タイヤの最も広い部分で行います。タイヤとフレームまたはフォーク要素の間には 6 mm の距離が必要です。

ZFS-5 (FM155)	
上部ヘッドセットベアリング寸法	1-1/2インチ、40 x 51.8 x 7.5、36°x45°
下部ヘッドセットベアリング寸法	1-1/2インチ、40 x 51.8 x 7.5、36°x45°
シートポスト	30.9 mmラウンド
シートポストクランプ径	35.5mmリムマウント
リアディレイラーハンガー	SRAM UDH
リアスルーアクスル寸法	12 x 148 mm (ブースト)
最大チェーンリングサイズ (1x)	36トン*
最大タイヤ幅 (実寸)	61 mm (2.4"), 6 mm のクリアランス **

ZFS-5 フレームジオメトリ - 100 MM フォーク

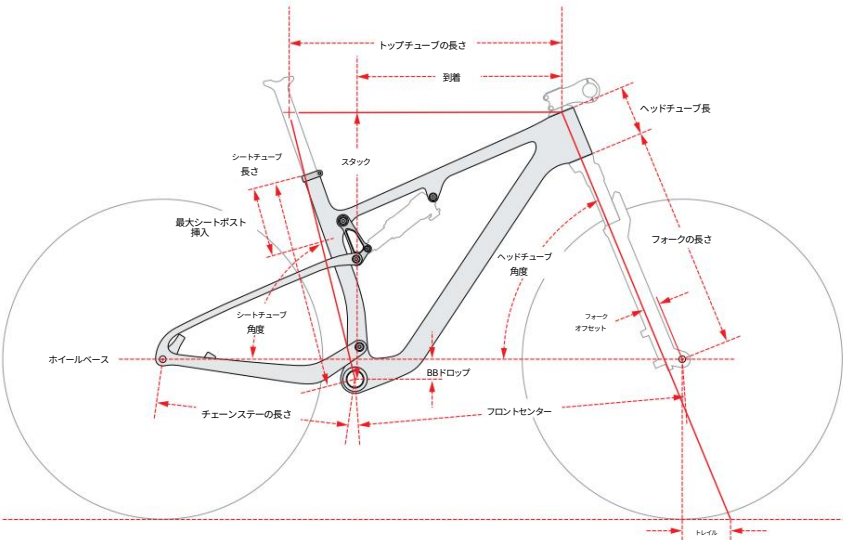
ZFS-5 (FM155)	S	M	L	XL
リーチ mm	421	445	469	496
スタック mm	584	590	601	614
ボトムブラケットドロップ mm	42	42	42	42
チェーンステー長さ mm	432	435	437	440
シートチューブ角度	76.5度	76.3度	76.2度	76度
ヘッドチューブ角度	67.8度	67.8度	67.8度	67.8度
フォークの長さ (車輪からクラウンまで) mm	506	506	506	506
フォークオフセット mm	44	44	44	44
フロントセンター mm	692	718	746	779
ヘッドチューブ長 mm	96	102	114	128
ホイールベース mm	1120	1149	1180	1215
シートチューブ長 mm	601	608	619	633
トップチューブ長 mm	562	589	617	649
シートポスト最大挿入長 mm	220	220	245	245



この表に示されている数値は、トラベル量 100 mm、オフセット 44 mm、全長 506 mm (アクスルからクラウンまで) の Rock Shox サスペンション フォークを使用して計算されています。

ZFS-5 フレームジオメトリ - 120 MM フォーク

ZFS-5 (FM155)	S	M	L	XL
リーチ mm	409	433	457	484
スタック mm	593	600	610	624
ボトムブラケットドロップ mm 33		33	33	33
チェーンステー長さ mm	432	435	437	440
シートチューブ角度	75.3°	75.1°	75.0°	74.9°
ヘッドチューブ角度	66.6°	66.6°	66.6°	66.6°
フォークの長さ (車輪からクラウンまで) mm	531	531	531	531
フォークオフセット mm	44	44	44	44
フロントセンター mm	700	726	755	787
ヘッドチューブ長 mm	96	102	114	128
ホイールベース mm	1130	1159	1190	1225
シートチューブ長 mm	601	608	619	633
トップチューブ長 mm	562	589	617	649
シートポスト最大挿入長 mm 220		220	245	245



この表に示されている数値は、トラベル量 120 mm、オフセット 44 mm、全長 531 mm (アクスルからクラウンまで) の Rock Shox サスペンション フォークを使用して計算されています。

付録：リアサスペンションのセットアップ

サスペンションセットアップに関する注意事項:

- このガイドは一般的なショックアブソーバーのセットアップガイドです。このガイドとサスペンションサプライヤーの資料に矛盾がある場合は、Cervéloカスタマーサポートに問い合わせて確認と説明を受けてください。
- リアショックをフォークの前に必ずセットアップしてください (サグ、リバウンド、コンプレッション)。
- サグは、通常走行中に着用するすべてのギア (ヘルメット、シューズ、サイクリングウェア、水分補給/ツールキット)とともに設定されます。
- サスペンション部品の最大空気圧を超えないようにしてください。

フロントサスペンションのセットアップガイドを参照してください
フロントサスペンションのセットアップ用にフォークメーカーから提供された

リアショックのセットアップ

- a. 圧縮調整ノブを全開位置に回します
- b. リバウンド調整ノブを完全に回します
オープンポジション
- c. ライダーの体重 (ポンド)に合わせて空気圧を設定します (例: ライダーの体重が150ポンドの場合、リアショックを150 PSIに設定します)。
- d. リアショックを5〜10回往復させて、正負の空気室の圧力を均等にします
- e. サグリングをショックダストに押し当てる
シールをし、ライダーが壁に寄りかかってニュートラルなライディングポジションでバイクに座るようにします。

WARNING
ショックに記載されている最大リアショック圧力を超えないでください。

f. サグの測定値は、Oリングとショックのダストシール間の距離です (注: 一部のリアショックには、ショック本体にサグ勾配が刻まれています。これらは、セットアップ時にサグリングと同じ役割を果たします)。

g. 目標のたわみ率を満たすために、必要に応じて空気圧を調整します (注: 空気圧を上げるとたわみの測定値は減少し、空気圧を下げるとたわみの測定値は増加します)。

h. 希望の乗り心地を実現するために、圧縮とリバウンドの設定を調整します。

ショックストローク (mm)	ターゲットサグ (mm)
40	10~12歳
45	11.25-13.5

*目標サグはショックアブソーバーの総移動量の25%~30%です

付録: 機械的安全性チェック

注：Cervéloでは、新しい自転車をご使用後30〜60日で、正規販売店に初回点検をご依頼いただくことをお勧めしています。これは、新しい自転車によくある、馴染んだり、伸びたり、あるいは自然にへたったりした部品を点検するための重要なサービスです。初回点検では、Cervélo自転車の安全性、性能、耐久性を長年にわたって向上させるために必要な調整を行います。

毎回乗る前に:

- フレームとフォークに、傷、ひび割れ、へこみ、変形、変色など、負荷のかかった跡がないか確認してください。チェーンステアガードを点検し、正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- 前輪がフォークに、後輪がフレームにしっかりと取り付けられていることを確認します。
- 車輪がまっすぐ回転することを確認する
フォークとスイングアーム。ホイールはブレーキの擦れがなく、スムーズに回転するはずです。
- タイヤの空気圧が推奨範囲内であることを確認する
タイヤとリムの範囲。
- ブレーキレバー、キャリパー、ローター、ブレーキパッド、ブレーキラインなど、ブレーキを点検します。取り付けボルトが正しく締め付けられていることを確認してください。

ブレーキレバーを握って、キャリパーが閉じて自転車が前後に動かないことを確認してください。ブレーキレバーが接触してはいけません。

ハンドルバーを最大限まで押し込んだ場合でも、

- ハンドルとステムが正しく取り付けられていることを確認する
前輪に対して位置と位置合わせが行われます。
ステムボルトが正しく締められているか確認してください。
傷、ひび割れ、へこみ、変形、変色など、ストレスの兆候がないか検査します。

- サスペンションを循環させて、正常に機能することを確認します。
支柱にゴミなどがある場合は清掃してください。
サスペンション システムが好みに応じて設定されていることを確認します。

- 照明システムと反射板が正常に機能していることを確認します。

- サドルとシートポストが正しく位置し、締め付けられていることを確認してください。サドルはフレームのトップチューブと一直線になっている必要があります。

- シフト操作がスムーズに行われるか確認し、必要に応じて調整します。

- ペダルとシューズに保持システムの妨げになるようなゴミがないことを確認します。

- チェーンに潤滑油を差します。

毎週（約100マイル）:

- すべてのボルトが適切なトルクで締め付けられていることを確認してください。ペダルやその他の付属品も必ず確認してください。

- リムに損傷の兆候がないか確認し、スポークが緩んでいないか確認します。

- 自転車を洗浄します。高圧洗浄機、強力な化学洗浄剤、溶剤は使用しないでください。また、圧縮空気で乾燥させないでください。

ヘッドチューブ、ボトムブラケット、ホイールベアリングに直接スプレーしないでください。

- タイヤに損傷や摩耗がないか確認し、良好な状態であることを確認します。

- サスペンション部品のダストシールにひび割れや漏れがないか清掃します。

- 電子ドライブトレイン、サスペンション、またはアクセサリ コンポーネントのバッテリー レベルを確認します。

毎月（約400マイル）

- シフターとブレーキケーブル/ホースの点検
摩耗、漏れ、ほつれ、錆、またはその他の損傷。

- 通常の操作時にケーブルが引っ張り張られたり、他の部品に引っかかったりしないことを確認します。

- ボトムブラケットが締め付けられていることを確認してください
適切なトルク仕様でクランクアームを回転させ、摩擦、異音、ガタがないことを確認してください。必要に応じて調整またはオーバーホールを行ってください。販売店にご相談ください。

- フロントブレーキがロックされているときにヘッドセットが遊びがなく、正しく調整されていることを確認します。
必要に応じて調整またはオーバーホールしてください。販売店にご相談ください。

- チェーンの張り力が適切であることを確認します。
チェーンに破損部分、ねじれ、錆などがないか点検します。

- ブレーキパッドが摩耗していないか確認する（1mm未満の場合は交換）

- チェーンステアガードとボトムブラケットを確認する
摩耗に備えたガード。

- ホイールハブがスムーズに作動するか（緩みや摩耗がないか）確認してください。必要に応じて調整またはオーバーホールを行い、販売店にご相談ください。

3ヶ月ごと（約1500マイル）

- ドライブトレイン部品の損傷を検査する
または服用します。

- クランクアームとペダルを点検し、しっかりと固定されており、動きや遊びはありません。摩耗や損傷の兆候がないか確認してください。

- タイヤのシーラントレベルを確認する（チューブレスの場合）
設定）。

- サスペンション部品の摩耗や損傷を点検します。

- フレームピボットベアリングを清掃して点検します。
ショックリンク、ピボットアクスル。部品には高品質の自転車用グリースを塗り直し、摩耗や損傷がある場合は交換してください。チューブレス仕様の場合は、タイヤのシーラントの量を確認してください。（1mm未満の場合は交換してください。）

- チェーンステアガードとボトムブラケットを確認する
摩耗に備えたガード。

- フレームのピボットベアリング、ショックリンク、ピボットアクスルを清掃し、点検します。部品にグリースを塗り直し、摩耗や損傷がある場合は交換します。

毎年（約6000マイル）

- 販売店で年次サービス（フレーム、サスペンション、その他すべてのコンポーネントのオーバーホール サービスと検査）を実行します。

- 必要に応じて部品の修理、メンテナンス、交換を行います。
- コンポーネント製造元の指示に従ってすべての部品を清掃し、潤滑します。または、販売店にご相談ください。


- サービス手順と間隔を確認する

自転車はwww.cervelo.comで

- コンポーネント製造元の指示に従って、ブレーキのブリーディングとサスペンションのオーバーホールを実行します。

注：このセクションでは、自転車の安全な運転を確保するためのガイドラインを示しますが、完全な安全点検とみなすべきではありません。これらのガイドラインに従うことで、自転車の性能を維持し、より深刻な問題の発生を防ぐことができます。

特定のコンポーネントのサービス手順については、メーカーのウェブサイトをご覧ください。バイクに問題が見つかり、修理できない場合は、Cervélo正規販売店にバイクをお持ち込みいただき、サービスを受けてください。サービス間隔は、気候、トレイルの状況、走行頻度によって異なる場合があることにご注意ください。

 **WARNING**
衝突や事故に遭った場合は、必ずプロの自転車整備士に点検してもらい、安全に乗れるかどうかを確認してください。損傷した自転車に乗るのは危険であり、重傷や死亡につながる可能性があります。

サーヴェロ カスタマーサポート

Cervélo への質問やサービスおよびメンテナンス サポートについては、
www.cervelo.com/contact-us にアクセスしてください。

www.cervelo.com/support にアクセスし、MyCervélo アカウントを通じて Cervélo 自転車を登録してください。

Cervélo 製品の詳細については、www.cervelo.com/product-manuals をご覧ください。



Cervélo の保証ポリシーの詳細については、www.cervelo.com/warranty をご覧ください。

注記

ZFS-5 リテーラー組立マニュアル

www.cervelo.com

CER-FSA-V1 2023-05-10

cervelo